



さちが丘小学校 学校だより

7月号

令和2年7月1日

横浜市立さちが丘小学校

校長 中澤 道則

若竹

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

「まち」と共に

学校長 中澤 道則

サクラの花に迎えられての入学式から3か月。いつしか雨に濡れるアジサイの美しい季節になりました。長い休業明けの子ども達は最初のうちこそ緊張した面持ちで学校に来ましたが、だんだんと「新たな日常」に馴染んできています。

分散登校から午前授業へと、学校の教育活動も、だんだんと本格化してきました。各教科の学習は、朝、15分間のスキルタイムも活用しながら時間数の確保に努めています。学校の横の畑では2年生が生活科の学習で夏野菜づくりを始めました。この畑は、地域の新堀さんから長らくお借りしている畑です。昨年度はあまり活用できませんでしたが、今年度は「育てて食べようプロジェクト」として教育委員会からも予算をいただき、本格的に運用を開始しました。



新型コロナウィルス感染拡大防止のための休校で、一時はプロジェクトの実現も危ぶまれましたが、休校期間中、杉山敏幸さんに畑づくりをお手伝いいただき、休業明けには無事、サツマイモの苗を植え付けることができました。本校の教育活動は「まち」の皆さんに支えられているのだ、ということを改めて感じました。秋には美味しいサツマイモを収穫することができるといいなど、子ども達共々楽しみにしています。

6月の学校再開から1か月。今日から給食も始まりました。だんだんと「新たな日常」に馴染みつつある今。しかし、こんな時だからこそより一層、衛生管理には気を遣わなければならないと思っています。学校では手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保等を子ども達に指導すると共に、消毒の効果が1週間程度継続する消毒液(医療機関での消毒などにも使われているもの)を入手し、毎週、教職員で消毒作業を行う等、今月も引き続き感染拡大防止に努めてまいります。

アジサイの見頃が過ぎるともうすぐヒマワリの季節です。先が見えない今だからこそ、今できることをしっかりと行いながら子ども達が安心して学べる環境をつくるために教職員一同努めてまいります。保護者の皆様、「まち」の皆様、今月も何卒よろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。